

Vision TRX™ ビジュアルモニタリングシステム



【実用例】

EMC 試験補助アプリケーション

イミュニティ試験の誤動作自動判定

測定者の目視判定に変わって、既存 CCTV 映像※¹を使用して自動的に誤動作を判定し、EMC ソフトウェアのレポート機能※²と連動します。

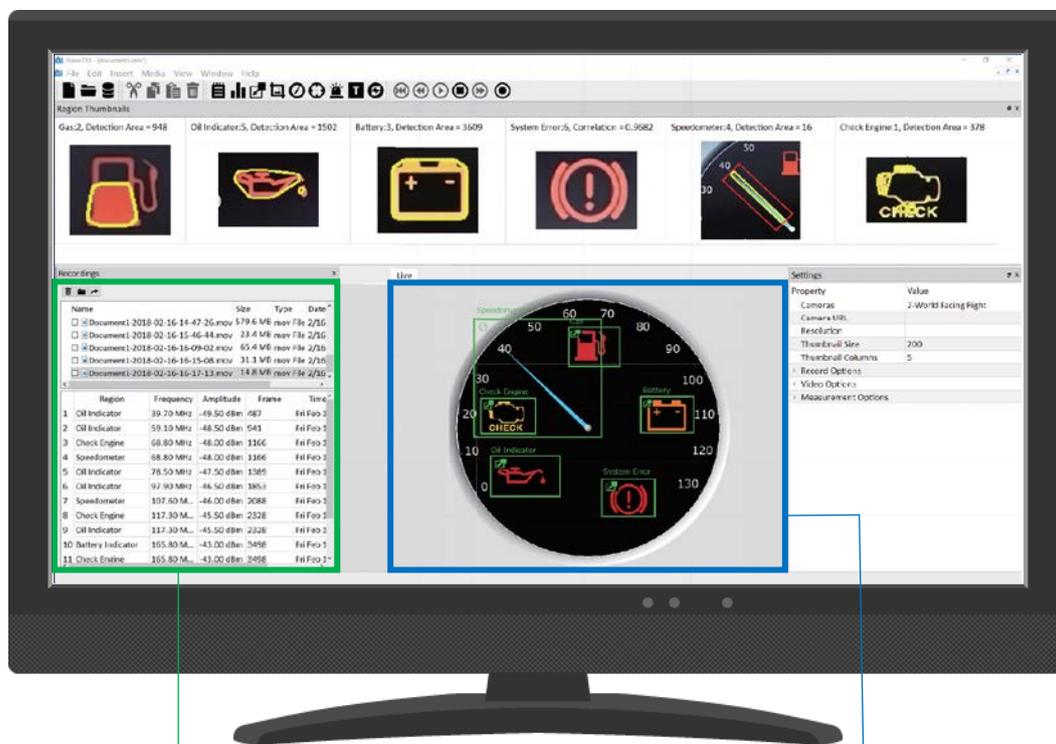
※¹ 映像入力: HDMI/DVI 入力とのインターフェース

※² 詳細はご使用のソフトウェアメーカー様にご相談ください。

Vision TRX は、EMC 試験中の供試体の動きを自動的に分析する ビジュアルモニタリング用ソフトウェアです。

VisionTRX は、EMC 試験中供試体の振る舞いを検証するため、イミュニティ試験時に関連するパラメータを自動で視覚的にモニタリングすることが可能です。例えば、スピードメータの針、計器灯、LED、ラジオ、ヘッドアップディスプレイなど、ユーザー用途に合わせた拡張性を有しています。

VisionTRX™ は、EMC 試験ソフトウェアとシームレスに連携させたり、或いは単独で機能させることにより、測定者の複雑な判断に委ねられていた部分を自動化させ、試験効率を大幅に改善することができます。



上段 誤動作判定をリアルタイムに表示。
下段 モニタリングエリア、周波数、電界強度値を表示。

CCTV からのライブ映像の取り込みエリア
この画像では 6 個のインジケータをモニタリングエリアしております。

Vision TRX™ ビジュアルモニタリングシステム

特 徴

■ 広範囲なモニタリングパラメータ

色、明るさや動きなどのモニタリングや数字の識別も可能です。

■ リミットのカスタマイズ

モニターする範囲を定義し、パラメータに関連するリミットを設定します。
許容範囲やしきい値を広範囲に変更可能です。

■ アクティブ分析

各範囲のリアルタイム分析と障害検知(Fault Detection)を可能にします。

■ イベントレコーディング

試験中の記録と保存を可能にし、誤動作のタイミングに直接ジャンプすることも可能です。
収集されたデータは、クライアントにリモートで簡単にシェアしたり、レポートにエクスポートすることも可能です。

■ アクティブ・データ・テキスト・オーバーレイ

Tile! ソフトウェアと同時に機能させると、記録したビデオにライブデータをオーバーレイすることが可能です。
パワーレベル、周波数、時間・日付や、ユーザー定義のオペレーター、EUT ID などのデータをオーバーレイ記録することも可能です。

■ しきい値化

Tile! ソフトウェアと同時に機能させると、誤動作を引き起こすレベルを正確に見つける自動しきい値化機能を可能にします。

日本イーティーエス・リンドグレン株式会社

東京都文京区小日向 4-2-6 〒112-0006

TEL 03-3813-7100 FAX: 03-3813-8068

E-mail: Japan@ets-lindgren.com

www.ets-lindgren.com

本文書の記載内容は、製品の改良のために予告なく変更する場合がございます。最新情報につきましては、ETS-Lindgrenにお問い合わせください。日本語による文書はあくまで翻訳であり、原文は英語となります。日本語と英語で内容に食い違いがある場合は、英語が正しいとみなされます。その場合、翻訳による誤解に関して弊社では責任を負いかねますのでご了承下さい。

VisionTRX-JP_2018.04